

日本教育福祉学会 第1回分科会(RC)報告会

日本教育福祉学会(JSEW)では、分科会(RC:Research Committee)の活動を進めています。以下の通り、RC1(創造的教育=福祉=人間研究部会)およびRC2(子どもと教育福祉部会)の合同の報告会を開催いたします。

日 時： 2015年(平成27年)6月20日(土) 16時~17時30分
場 所： 日本大学文理学部 H303教室
参加費： 無料

RC1 (創造的教育=福祉=人間研究部会)

題 目：『トマ・ピケティ著「21世紀の資本」を読んで
—公民科教育との関連を踏まえて—』

発表者：町田 紳(東京都立王子総合高等学校)

概 要： 共産主義陣営の崩壊により、世界的に資本主義はグローバル金融資本主義の段階にあり、先進国での所得や富の格差は拡大している。日本における経済格差も、深刻化している。私は、このような状況の中で、フランス人経済学者トマ・ピケティ著「21世紀の資本」という経済書に出会った。この本は、過去300年間の欧米諸国の税務データから歴史的・実証的に、先進諸国の所得、富の分配の動学を追った700頁の大書である。

私は、この書物を読んで要約し、公民科教育に生かせる点に関して提言しようと考えた。先進諸国の所得や富の格差の拡大は、第一次世界大戦までのベル・エポック期にピークになり、両大戦を経てボトムに低減した。しかし、新自由主義による資本の再度の活躍をとおして、欧米諸国の分配の格差は、今後、前代未聞の段階に達する可能性がある。彼は示唆する。この格差を解決するために、累進的資本課税などの導入を彼は勧めている。

RC2 (子どもと教育福祉部会)

題 目：「やなせたかしの正義観」

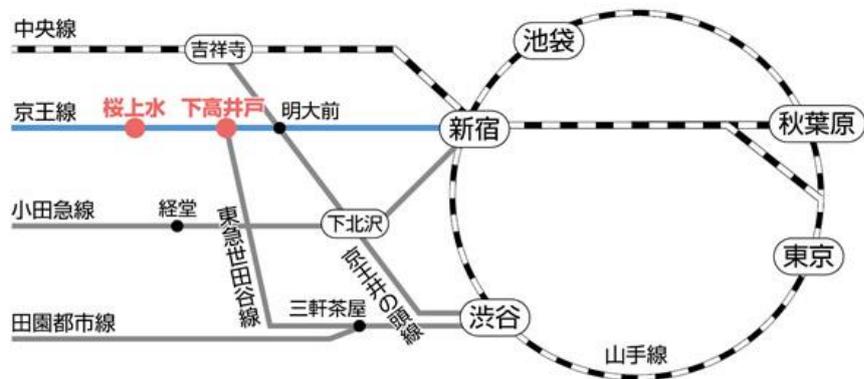
発表者：服部慶亘(日本大学)

概 要： やなせたかし氏は、言わずと知れた『アンパンマン』の産みの親である。食べ物がヒーローであり、お腹を空かせた人たちに自分の顔をちぎって食べさせるという、世界でも類を見ない『アンパンマン』のストーリー展開に、発表当初は否定的な評価しか得られずにいた。なぜ、氏はこのような展開を考えたのだろうか？

実は、氏の過酷な人生経験や戦争体験が、やがて氏の揺るぎない正義観へとつながってゆき、それが『アンパンマン』を生むきっかけとなっている。今回、やなせたかし氏が『アンパンマン』について言及した著作物の中から「正義」や「善と悪」「生と死」に関する発言を紹介し、氏が『アンパンマン』などの作品を通して子どもたちに何を伝えようとしていたのかを考える。また、氏の作詞したいくつかの楽曲から、氏の人生哲学を探ってみたいと思う。

日本大学文理学部へのアクセス

京王線下高井戸駅または桜上水駅下車 徒歩8分



日本教育福祉学会 事務局

〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196

文京学院大学ふじみ野キャンパス 小林宏美研究室内

<http://wellbeingstudies.web.fc2.com/>

nihonkyouikufukushi@outlook.jp (担当：黒須)